

別表2（第4関係）

調査対象有害動植物	調査方法※1				調査期間	調査回数	備考
	使用トラップ ※2	使用誘引剤	誘引剤の交換	トラップ 設置場所			
1. 節足動物							
チチュウカイミバエ ナタールミバエ	スタイナー型	トリメドルア剤	毎月1回	風通しの良い木陰（寄主植物又はその周辺が望ましい）等の地上1.5メートル程度の位置	日最高気温の月別平年値が14度以上の月	毎月2回	
ミカンコミバエ種群 モモミバエ		メチルオイゲノール剤	毎月1回				
ウリミバエ クインスランドミバエ セグロウリミバエ		キュウルア剤	毎月1回				
カリブミバエ セイブオウトウミバエ ナスミバエ ミナミアメリカミバエ メキシコミバエ リンゴミバエ	マックファイル型又はガロン型	蛋白加水分解物 ※3	毎月2回		日最高気温の月別平年値が12度以上の月		
コドリンガ	粘着式	コドレルア剤	毎月1回				
トマトキバガ	粘着式	フェロモン剤 (主成分:E, Z, Z-3, 8, 11-14acetate 及び E, Z-3, 8-14acetate)	毎月1回				
アリモドキゾウムシ	ロート型、円筒型又は粘着式簡易型	スウィートビルア剤	毎月1回	(1) ロート型又は円筒型はできる限り寄主植物周辺の地上部の位置 (2) 粘着式簡易型は地上	日最高気温の月別平年値が20度以上の月		

				50 センチメートル程度 の位置			
イモゾウムシ	(1) 寄主植物について、本種の寄生の有無を肉眼により調査する。 (2) 寄主植物がない場所においては、サツマイモ塊根を入れたトラップを設置し、調査する。サツマイモ塊根は毎月1回交換する。						
2. その他無脊椎動物							
アフリカマイマイ	(1) 日陰の高温多湿な場所において、本種の有無を肉眼により調査する。 (2) メタアルデヒド剤を入れたトラップを用いる場合には、緑地及び道路脇の植え込み等に設置し、本種の誘殺の有無を調査する。			降雨量の多い時期 (春期・秋期)	年2回		

※1 調査対象有害動植物の疑いのある動植物が発見された場合には、形態観察、遺伝子診断等により同定を行う。

※2 使用するトラップは調査対象有害動植物ごとに使用トラップの欄に記載のトラップを基本とするが、当該トラップと同等以上の効果を有するものであれば、記載されていないトラップも使用することができる。

※3 必要に応じて防腐剤として四ホウ酸ナトリウム十水和物（ホウ砂）を加えることができる(3%w/v)。